

純輸出

純輸出額は，GDP が大きいほど小さく，実質為替レートが高いほど大きい。

I. 国際価格比

A. 外国為替レート

1. 「為替レート」の意味 (foreign exchange rate)
 - a. 二国の通貨の交換比率
 - b. 外国為替 (bill of exchange) の価格
2. レートの表し方
 - a. 二つの方式
 - (1) 自国通貨で表した外国通貨 1 単位の価値
 - (2) 外国通貨で表した自国通貨 1 単位の価値
 - b. 主要通貨
 - (1) U.S. ドル
 - (2) ユーロ
 - (3) 英ポンド
 - (4) 日本円

B. 実質外国為替レート

1. 購買力平価
 - a. 商品レート (一つの商品，例：ハンバーグ)

$$\text{商品レート} = \frac{\text{国内価格}}{\text{国外価格}}$$

データ

国	価格
日本	¥ 160
アメリカ	\$ 0.8

$$\frac{160}{0.8} = 200 \quad \rightarrow \quad \$ 1.00 : ¥ 200$$

- b. その一般化 (複数の商品の集まり) — 購買力平価 (purchasing power parity, ppp)

$$\bar{e} = \frac{P_d}{P_f}$$

P_d : 国内での価格， P_f : 国外での価格

2. 実質為替レート

$$e^* = \frac{e}{\bar{e}} = \frac{e \cdot P_f}{P_d}, \quad e : \text{市場レート}$$

$$e > \bar{e} \Leftrightarrow e^* > 1$$

$$e < \bar{e} \Leftrightarrow e^* < 1$$

注意： アメリカ合衆国では分母と分子が逆

II. 純輸出の決定因

A. 輸入と GDP の関係

1. GDP の増加関数
 - a. 中間投入物の輸入 (原材料, 燃料等)
 - b. 最終消費財の輸入
2. 回帰分析

$$M = 0.073Y$$

日本, 1980–2003
1995 年価格, 兆円単位

変数	係数	標準誤差	T-値	有意水準
実質 GDP	0.0730	0.0026609221	27.43494	0.00000000

$$R^2 : 0.727444, \quad \bar{R}^2 : 0.727444$$

B. 国内生産物と国外生産物の代替

1. 輸入: e^* の減少関数
2. 輸出: e^* の増加関数

参考文献

教科書 . 第 7 章 , 178–180 および 195–196 .

内閣府, 経済社会総合研究所 (2005) 『国民経済計算年報』

Center for International Comparisons, University of Pennsylvania (2002) *World Table*. Mark 6.1.

http://pwt.econ.upenn.edu/php_site/pwt_index.php